

②技術項目理解のための解説

【A. 実践に対する理念の明確化】に関する技術項目

活動を推進するためには、その活動に対する核となるビジョンや目標を設定したり、実践で価値をおいていることを意識化したりすることで活動目的や方法が明確になります。

1. ビジョン・目標の設定

これらは、事業を継続していく上で、活動のビジョンや目標を設定する時のヒントとなる項目です。

(1)	住民と関わるあらゆる機会を健康づくりのチャンスと考え、潜在している健康問題がないかどうか意識する
(2)	健康問題発生に影響を及ぼしている地域の生活習慣や生活環境といった生活実態を捉え、事業の必要性を意識する
(3)	事業がもたらす成果を描くことで、活動の必要性を意識する
(4)	住民の立場にたって目指すべき姿を明確にする
(5)	先を見通し、事業において大事とする考え方を明確にする
(6)	保健師として取り組むべきことは何なのかを繰り返し問いかけ考えていくことで、目指すべき姿を明確にする

解説

- (1) 日常の会話も含め住民と関わるあらゆる機会を健康づくりの機会と捉えましょう。集中してかわることから見守る程度まで、時期に応じて、その機会を変化させていきましょう。顕在している健康問題だけでなく、潜在している健康問題がないかどうか意識しましょう。
- (2) 健康問題そのものに視点が向きがちですが、その発生に影響している地域の生活習慣や生活環境といった生活実態に目を向けましょう。その実態に照らして、担当している事業が必要かどうかまず点検してみましょう。
- (3) 事業がもたらす成果は何かを想定し、明文化してみましょう。成果を明確にしておくことで、担当事業を含めて関連する活動について、その必要性をあらためて確認することができます。また、事業の成果を想定する際には、事業で何をを目指すのかを明確にすることが大事です。
- (4) 上記(3)において、事業で何をを目指すのかを明確にする際には、住民の立場に立って、考えることが重要です。住民からの意見を聴取しながら、今後の住民や地域の目指すべき姿を明確にしましょう。
- (5) (6) 5年、10年先のビジョンを持ち、保健師だからこそ何を大事にすべきか考えてみましょう。少し先の将来に向けて目標を達成するために、公衆衛生看護の立場から保健師として取り組むべきことは何なのか、繰り返し問いかけ考えていきましょう。

2. 実践で価値をおいていることの意識化

これらは、事業を継続していく上で、実践において保健師が価値をおいていることを改めて意識する項目です。

(7) ライフステージのより早い段階から、健康問題を未然に防ぐことを重視する

(8) 活動を継続していくためには住民との信頼関係づくりが基本であることを意識する

解説

- (7) より若い世代から健康問題への意識をもってもらい、問題を未然に防ぐことを重視しましょう。若い世代の住民は、健康問題を自分のこととして捉えられないなどアプローチの困難さがありますが、各ライフステージに必要な関わりは何かを考えていきましょう。
- (8) 住民との信頼関係づくりは活動の原点ですね。所属や部門によっては、住民と直接的な関わり合いのないところもありますが、住民から相談を受けられるような関係づくりは常に必要です。